評価結果の公表 施策名 消防・救急体制の充実

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	安心安全に暮らせるまち
施策	消防・救急体制の充実
主管部局	消防本部
主管課	消防総務課
関係課	消防署、予防課

2 施策が目指す大府市の姿

内容

市民、地域、事業者、消防の協働により、災害時に対応できる消防・救急体制が構築されています。市民が防火・防災や救急救命に必要な知識と技術を習得し、いざというときに尊い生命を救える勇気あるバイスタンダーがいるまちになっています。

3 令和 6年度 施策フルコスト (単位:千円)

5 月1 0十尺 が スプルーバー (十四: 111)	D 0.7 44	D 7 = /c	
歳出(使ったお金)	R 6決算	R 7予算	
(1)人件費	216, 657	0	
(2)事業費	291, 174	413, 574	
フルコスト(歳出合計)	507, 831	413, 574	
歳入(お金の出所)	R 6決算	R 7予算	
(1)国庫支出金(国から出たお金)	31, 019	26, 607	
(2)県支出金 (愛知県から出たお金)	3, 254	1,654	
(3)市債(市の借金)	31,000	0	
(4) その他特定財源(使い途が決まっているお金)	34, 655	0	
(5)一般財源(市税収入など)	191, 246	385, 313	
歳入合計	291, 174	413, 574	

4 「まちの健康」指標(施策評価指標)

有効性指標 1

指標名 指標名	「消防・排	枚急体制の	り充実に満	足してい	る」市民の	り割合				単位	%
וי אוים נ											67. 6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	61.0	61.0	62. 0	62.0	63.0	63.0	64.0	64.0	64. 5	64. 5	65.0
実績値	64. 5	64. 5	67. 2	67. 2	67. 6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	市民意識語	調査の「氵	肖防・救急	体制の充	実」に対す	よる満足度 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	で「満足	」又は「は	おおむね満	5足」と答	えた市民
データの	の割合										
出所等											
	市民意識詞									た。報告	書による
計画値、	と市民から	らは満足月	度と同様に	重要度も	高いため、	現在の水	(準を維持	する必要な	があります	0	
実績値の											
推移に関する											
分析と評価											

指標名	バイスタン	ンダーの剤	を成に関連	する講座	などの受調					単位	人
7日1示1口											
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	5, 650. 0	5, 650. 0	5, 700. 0	5, 700. 0	5, 750. 0	5, 750. 0	5, 800. 0	5, 850. 0	5, 900. 0	5, 950. 0	6,000.0
実績値	927. 0	2,079.0	4,671.0	4, 943. 0	4, 936. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	消防署が多	実施する <i>A</i>	AED講習	会及び救	命講習会∅)年間受講	者数				
データの											
出所等											
	コロナ畑	み、収また	<u> </u>	存命から	马捷	ドコロナ畑	を超える	トカレナン	1 ま 1 た	この 粉 な	維持 L
計画値、	昇させる										
	信を持つ				•						5 X(C D
推移に関する		∠ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	14. CG 2	/ " / \ /	· /	3 P/A 7 · \	V JING C	押日ムで の		C & 7 o	
分析と評価											

評価結果の公表 施策名 消防・救急体制の充実

有効性指標3

	指標名	火災出動化	件数								単位	件
l	1日1示1口										現状値	26.0
l	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
	計画値	20.0	20.0	19. 0	19.0	18.0	18.0	17. 0	17.0	16.0	16.0	15.0
	実績値	24. 0	25.0	24. 0	25. 0	31. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	算定式、 データの 出所等	消防年報	が年報における年間火災出動件数									
	計画値、 実績値の 推移に関する 分析と評価	発生しま 、財産の何	した。今後 保護に努る	後も引き続	き火災件	数の減少に による高齢	こ向け、重 冷者の被害	点的に火 を未然に	災予防啓発	経活動を実	tならず、 E施し、市 見差した予	民の生命

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
消防車両等整 備事業	消防総務課	81, 402 (81, 402)	指標名	消防車両等の更新数	;	妥当性	Α	
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	1.0	:	有効性	Α	
	車扱車業の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	200.0%	:	効率性	Α	

事務事業の万同性

B:現状のまま継続 ゼロカーボン化への可能性を含め、時代の変化に柔軟に対応する必要があります。消防・救急及び救助活動に支障をきたさず、市民サービスの質を向上させるため、計画的に事業を進める必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	
消防施設管理 整備事業	消防総務課	56, 261 (56, 261)	指標名	消防拠点施設の改修、整備及び拡張数	妥当性	А
						_
			単年度計画値	8.0	有効性	Α
			単年度実績値	8.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に 対する達成率	266. 7%	効率性	A

事務事業の方向性

B:現状のまま継続 職員の拠点である施設の適切な運用を目的とし、施設の長寿命化を図ることが持続可能な消防・救急体制 の維持につながるため、計画的に事業を進める必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
消防職員研修 事業	消防総務課	33, 599 (33, 599)	指標名	消防学校入校者数	妥当性	А		
			単年度計画値 単年度実績値	21. 0 15. 0	有効性	А		
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	71. 4% 83. 3%	効率性	А		

事務事業の方向性

B:現状のまま継続 専門的な知識、技術を習得し、消防力の充実強化を図ることで質の高い市民サービスを提供するため、計画的に事業を進める必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	į
消防業務管理 事業	消防署	66, 658 (66, 658)	指標名	街頭消火器収納ボックス更新数	妥当性	А
			単年度計画値 単年度実績値	30. 0 48. 0	有効性	Α
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	160. 0% 160. 0%	効率性	А

事務事業の方向性 B:現状のまま継続

資機材の老朽化による事故発生防止のため、計画的な更新、整備により、迅速な活動を実施します。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
救助業務管理 事業	消防署	49, 275 (49, 275)	指標名	複合ガス測定器点検回数	妥当性	Α		
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	2. 0 2. 0	有効性	А		
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 0% 100. 0%	効率性	А		

事務事業の方向性

|B:現状のまま継続

救助資機材の老朽化による事故発生防止のため、計画的な更新、整備により、救助隊員の安全な活動環境 の確保及び迅速な救出活動を実施します。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
救急業務管理 事業	消防署	78, 999 (78, 999)	指標名	高規格救急自動車積載資機材保守点検回数	妥当性	А		
			単年度計画値 単年度実績値	1.0	有効性	Α		
	市政市类の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 0% 100. 0%	効率性	А		

<u>事務事業の方向性</u> B:現状のまま継続

救急件数の増加に伴い救急現場で使用する消耗品、医薬材料費が増加しており、予算が増額となることが 必至です。使用する資機材の精査や安価な代替品の導入などで限られた予算を最大限に活用する必要があ ります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
消火栓・防火 水槽維持管理 事業	消防署	45, 291 (45, 291)	指標名	標識・支柱取替修繕数	妥当性	A		
			単年度計画値 単年度実績値	25. 0 14. 0	有効性	А		
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	56. 0% 56. 0%	効率性	А		

事務事業の方向性

|B:現状のまま継続

水道管布設替工事に合わせて、消火栓の移設工事を行います。また、災害時に消火栓を有効活用できるよう、消火栓の場所を示す消火栓周囲の黄色枠が不鮮明となっている箇所などの計画的な修繕を行います。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標							
団体等育成事 業	予防課	26, 562 (26, 562)	指標名	防火危険物安全協会への指導回数	妥当性	Α					
			単年度計画値 単年度実績値	5. 0 4. 0	有効性	٨					
	市改市業の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	80. 0% 80. 0%	効率性	А					

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

消火器の取扱いの熟練を目的とした初期消火競技会の開催や、会員事業所で働く外国人に対し、日本で災害があった時の対応について、防災講座を実施し、会員に対して指導します。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標						
検査管理事業	予防課	26, 469 (26, 469)	指標名	火災予防査察件数	妥当性	А				
			単年度計画値 単年度実績値	600. 0 635. 0	有効性	А				
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	105. 8% 141. 1%	効率性	А				

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

適正な火災予防査察を実施し、不備事項がある場合は、是正指導します。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標						
指導管理事業	予防課	29, 204 (29, 204)	指標名	火災件数	妥当性	Α				
			単年度計画値 単年度実績値	15. 0 31. 0	有効性	А				
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	48. 4% 48. 4%	効率性	А				

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

一般住宅の新築、増築等の住宅用火災警報器の設置審査を適正に行います。また、事業所等に消防用設備等を適正に設置するよう指導します。火災予防の啓発活動について、「火災ZERO戦士 ファイアーX」を活用した活動を多角的に実施し、老若男女問わず幅広い年齢層への防火防災意識の高揚を図ります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標						
消防団管理運 営事業	消防総務課	67, 120 (67, 120)	指標名	消防団員の確保	妥当性	А				
			単年度計画値 単年度実績値	153. 0 153. 0	有効性	А				
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 0% 100. 0%	効率性	А				

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

消防団員のなり手不足等、消防団をとりまく環境は大きく変化していますが、地域防災力を維持させるために消防団の存在は必要不可欠であるため、計画的かつ積極的に消防団員の確保に努める必要があります

評価結果の公表 施策名 消防・救急体制の充実

6	施策の事後評価
ь	

ひが水ツチに	久叮Щ
現状認識	現状では前年数値、計画値を超えることができておりませんが、高齢化がすすむなか、応急手当ができる バイスタンダーが1人でも多いことは市民にとって有益です。健康で安心して暮らせる都市のため、正し
とりまく状況	い知識や情報に基づく講習会の開催に引続き取り組みます。
の変化や課題 等)	
	災害の多様化、救急件数の増加等に対応するため、今後を継続的に消防・救急体制の充実に努めます。
施策の推進 に向けた	
今後の方針	

評価結果の公表 施策名 計画的で包括的な治水対策の推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

	<u> </u>
健康領域	まちの健康
政策	安心安全に暮らせるまち
施策	計画的で包括的な治水対策の推進
主管部局	都市整備部
主管課	水緑公園課
関係課	水緑公園課、水道工務課

2 施策が目指す大府市の姿

内容

雨水排水施設が適正に整備・維持管理され、都市化が進展しても雨水流出量が増大せず、ゲリラ豪雨や集中豪雨などによる浸水リスクに強いまちになっています。

3 令和 6年度 施策フルコスト (単位:千円)

歳出(使ったお金)	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	22, 243	0
(2)事業費	187, 605	96, 628
フルコスト(歳出合計)	209, 848	96, 628
歳入(お金の出所)	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金(国から出たお金)	2,000	0
(2)県支出金(愛知県から出たお金)	22, 958	0
(3)市債(市の借金)	0	0
(4) その他特定財源(使い途が決まっているお金)	20, 731	0
(5)一般財源(市税収入など)	141, 916	96, 628
歳入合計	187, 605	96, 628

4 「まちの健康」指標(施策評価指標)

有効性指標1

指標名 「水害に強い都市基盤の整備に満足している」市民の割合									単位	%	
1日1示1口										現状値	33. 0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	33. 5	33. 5	35.0	35. 0	36.0	36. 0	37. 5	37. 5	39.0	39. 0	40.0
実績値	38.8	38.8	41. 2	41. 2	38.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	市民意識詞	調査の「フ	k害に強い	都市基盤	の整備」に	こ対する満	足度で「	満足」又に	ま 「おおむ	『ね満足』	と答えた
データの データの	市民の割る	合									
出所等											
山川寺											
計画値、											
実績値の											
推移に関する											
分析と評価											

指標名 治水対策量の達成率							単位	%				
7日1示7口											58. 1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	
計画値	59. 3	60.6	61.8	63. 1	64. 3	65. 6	66. 9	68. 1	69. 4	70. 6	72. 0	
実績値	61. 1	64. 9	66. 9	76. 2	79. 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、	流域対策	域対策量実績累計/286,300(最終目標値) m³×100										
データの												
出所等												
計画値、												
実績値の												
推移に関する												
分析と評価												
											l	

評価結果の公表 施策名 計画的で包括的な治水対策の推進

有効性指標3

H WILTIER O												
指標名	下水道雨	水整備実施	を済面積 ((10年確	率降雨)					単位	ha	
1日1末7口										現状値	138. 9	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	
計画値	138. 9	212.0	236. 3	236. 3	236. 3	236. 3	236. 3	294.0	294.0	294.0	294. 0	
実績値	138. 9	138. 9	212. 4	212. 4	212. 4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、	下水道雨	水道雨水整備実施済面積(10年確率降雨)の累計値										
データの												
出所等												
山川寺												
	県の実施で	する排水機	幾場整備に	併せ、雨	水管渠を團	を備する浸	:水対策を	進めていま	きす。			
計画値、	実績値は記	計画値を「	下回ってい	るので、	引き続き巻	曼水対策を	進める必	要がありす	きす。			
実績値の												
推移に関する												
分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		評価点	ā	
総合排水計画 事業	水緑公園課	3, 062 (3, 062)	指標名	雨水流出抑制対策済量	妥当性	Α
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	184, 234. 0 226, 441. 9	有効性	Α
	声 数声类の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	122. 9% 110. 0%	効率性	А

事務事業の方向性 B:現状のまま継続 毎年、全国各地で局所的な集中豪雨が頻発しています。東海豪雨級の豪雨に備え、継続して事業に取り組む必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	į
水路整備事業	水緑公園課	8, 494 (8, 494)	指標名	当該年度水路整備延長	妥当性	Α
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	16. 0 16. 0	有効性	А
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100.0%	効率性	А

事務事業の方向性

B:現状のまま継続 市内に老朽化した水路が残っているため、継続して必要な水路整備に取り組んでいきます。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	į
雨水整備事業	水道工務課	(0)	指標名	雨水整備実施済面積(5年確立降雨)	妥当性	А
			単年度計 <u>画値</u> 単年度実績値	1, 288. 2 1, 298. 2	有効性	А
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 8% 95. 4%	効率性	Α

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

全国的に大雨等による災害が発生しており、対策が急がれています。浸水や洪水に対する防災対策について、市民から期待されているため、引き続き、事業を推進します。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	į
河川維持事業	水緑公園課	58, 352 (58, 352)	指標名	河川の草刈面積(単年度) 	妥当性	Α
			単年度計画値 単年度実績値	82, 040. 0 84, 785. 0	有効性	Α
	*****************		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	103. 3% 79. 2%	効率性	А

| 事務事業の方向性

B:現状のまま継続

防災・減災や河川景観の観点から、市が適切な維持管理を継続して実施する必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	į
水路等維持事業	水緑公園課	86, 172 (86, 172)	指標名	水路等の草刈面積 (単年度)	妥当性	Α
			単年度計 <u>画値</u> 単年度実績値	13, 565. 0 13, 300. 0	有効性	А
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	98. 0% 120. 9%	効率性	А

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

|防災・減災や河川景観の観点から、市が適切な維持管理を継続して実施する必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	į
雨水管渠等維持管理事業	水道工務課	0 (0)	指標名	雨水維持管理区域面積	妥当性	A
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	1, 288. 2 1, 298. 2	有効性	A
	声数声类の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 8% 95. 4%	効率性	А

| 事務事業の方同性

B:現状のまま継続

全国で大雨等による災害が多発している中、浸水や洪水に対する防災対策のために、適正な維持管理を推進していきます。また、雨水貯留浸透施設設置奨励補助金交付件数の目標の達成に向けて、PRに力を入れ ていきます。

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を 等)

気候変動の影響などにより風水害が激甚化、頻発化しており、東海豪雨を経験した本市として行政、企業 市民とともに総合的な治水対策に継続して取り組む必要があります。

境川右岸の拡張工事が行われています。横根川排水機場の建替事業が進められています。五箇村川中流排 とりまく状況 水機場の建設工事が行われています。 の変化や課題

雨水整備事業については、県の実施する排水機場整備に併せ、雨水管渠を整備する浸水対策を進めていま

雨水管渠等維持管理事業については、適切に維持管理を行いました。

大府市総合排水計画に基づき、引き続き計画的に施策を実施していきます。

施策の推進 に向けた 今後の方針

雨水整備事業については、計画的に浸水対策を推進します

雨水管渠等維持管理事業については、引き続き適切な維持管理を実施していきます。

評価結果の公表 施策名 防災・減災対策の推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

. 71 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
健康領域	まちの健康
政策	安心安全に暮らせるまち
施策	防災・減災対策の推進
主管部局	市民協働部
主管課	危機管理課
関係課	危機管理課

2 施策が目指す大府市の姿

内容

市民一人ひとりの防災意識が高まり、市民、地域、事業者、行政が、それぞれの役割を理解し、連携して、防災・減災対策に取り組んでいます。

3 令和 6年度 施策フルコスト (単位:千円)

歳出(使ったお金)	R 6決算	R 7予算
(1) 人件費	45, 142	0
(2)事業費	131, 841	48, 759
フルコスト(歳出合計)	176, 983	48, 759
歳入(お金の出所)	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金(国から出たお金)	7, 739	0
(2)県支出金(愛知県から出たお金)	8,009	704
(3)市債(市の借金)	0	0
(4) その他特定財源(使い途が決まっているお金)	724	0
(5)一般財源(市税収入など)	115, 369	48, 055
歳入合計	131, 841	48, 759

4 「まちの健康」指標(施策評価指標)

有効性指標1

	• 1										
指標名	「震災や	水害に対す	よる防災対	策に満足	している」	市民の割	合			単位 現状値	%
ויאויםנ											31. 9
年度	R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8 R 9 R 10									R11	R12
計画値	33. 5	33. 5	37. 0	37. 0	40.0	40.0	43. 5	43. 5	47.0	47.0	50.0
実績値	37. 6	37. 6	39. 2	39. 2	38.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	市民意識詞	調査の「鵟	戛災や水害	に対する	防災対策」	に対する	満足度で	「満足」	又は「おお	むね満足.	」と答え
データの	た市民の語	割合									
出所等											
山川寺											
	満足してい	ハる市民の	り割合は実	績値が計	画値を下回	回っていま	す。より	多くの市員	民に満足し	ていただ	くため、
計画値、	災害の教	訓を生かし	_ン た災害用	備蓄品の	整備等の隊	方災対策や	、市民へ	の防災対策	策の周知を	進める必	要があり
実績値の	ます。										
推移に関する											
分析と評価											

	<u> </u>										
指標名	「減災対策	策(自宅の	の耐震化、	家具の転	倒防止、フ	k・食糧の	備蓄など) に取り約	狙んでい	単位	%
る」市民の割合											56. 1
年度	R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8 R 9 R10										R12
計画値	58. 0	58.0	62. 5	62. 5	67.0	67.0	71. 5	71. 5	76.0	76.0	80.0
実績値	58. 3	58. 3	58. 1	58. 1	62. 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	市民意識	調査で「氵	咸災対策 (自宅の耐	震化、家具	具の転倒防	近、水・	食糧の備蓄	いなど)に	取り組む	こと」に
データの	「積極的	に」又は	「ある程度	」取り組	んでいると	と答えた正	i民の割合				
出所等											
шл											
	最も多い	回答が「な	ある程度は	取り組ん	でいる」の	り50.3%で	あり、回	答者のうす	ち中学生以	人下のこど	もがいる
	家庭は取										
実績値の	でいない	」割合が、	20歳代が	50.0%	1人暮らし	_の方が48	8.8%と高	いため、タ	付象世代を	:絞り込ん	だ減災啓
推移に関する	発を行う	必要があり	ります。								
分析と評価											

評価結果の公表 施策名 防災・減災対策の推進

有効性指標3

指標名	災害時相	互応援協定	定などの締	結数(累	計)					単位	件	
10/18/10												
年度	R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8 R 9 R10										R12	
計画値	122. 0 123. 0 124. 0 125. 0 126. 0 127. 0 128. 0 129. 0 130. 0								130.0	130.0		
実績値	128.0	131.0	134. 0	137.0	140.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、	大府市地域	或防災計画	画における	災害時相	互応援協定	主などの締	話数(累	計)				
データの												
出所等												
шлт												
	災害対応に	は市単独で	では困難で	あるため	、指定福祉	止避難所の	設置に関	する協定を	字令和6年	度に新たり	に締結し	
計画値、	、災害時の	の支援の研	催保に努め	ています。	0							
実績値の												
推移に関する												
分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標						
災害対策管理 事業	危機管理課	21, 128 (21, 128)	指標名	災害対策支部総点検の実施	妥当性	А				
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	10. 0 10. 0	有効性	A				
	市政市类の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 0% 100. 0%	効率性	А				

<u>事務事業の方向性</u>

B:現状のまま継続 災害時に市民の安全が確保できるよう、計画の策定、マニュアルの整備や災害対策支部総点検等を継続して実施する必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標	評価点	
災害対策整備 事業	危機管理課	29, 006 (29, 006)	指標名	備蓄食糧数	妥当性	A
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	130, 140. 0 130, 140. 0	有効性	А
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 0% 96. 4%	効率性	А

事務事業の方向性

A:拡大 南海トラフ地震や甚大化する災害に備えるため、災害の教訓を活かした備蓄品の充実、情報伝達手段の充 実等の災害対策整備は、年々拡大していく必要があります。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
防災啓発事業	危機管理課	44, 148 (44, 148)	指標名	出前講座の実施	妥当性	А		
			単年度計 <u>画値</u> 単年度実績値	24. 0 45. 0	有効性	Α		
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	187. 5% 166. 7%	効率性	А		

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

市が発令する避難情報の伝達手段の啓発を始め、災害対策の基本である「自分の安全は自分で守る」、地域の安全は地域で守る」という意識の醸成を継続して実施していく必要があります。

評価結果の公表 施策名 防災・減災対策の推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標評価点				
災害に強い住 宅建設推進事 業	都市政策課	31, 921 (31, 921)	指標名	耐震診断実施件数	妥当性	В	
			単年度計画値	40.0	有効性	A	
			単年度実績値	47. 0			
			単年度達成率	117. 5%			
			最終目標に 対する達成率	117. 5%	^一 効率性	B	
	事務事業の	方向性	7.17 0 22.774				
	B:現状のま						
	大きな地震の		耐震住宅に対するの。	補助等も見直されているため、目標とする	耐震化率の	達成	

6 施策の事後評価

現状認識 大雨等の浸水地域の居住者が、より迅速な避難行動ができるよう、拡充した情報伝達手段を広く周知する必要があります。市が開設する避難所の他、在宅避難、安全な親戚・知人宅へ避難することの有効性を市民にさらに認識いただく必要があります。 市が開設する避難所においては、大規模停電に対応できる電力の確保が求められるため、自動車販売事業 者等との給電協力、災害時協力車両の登録、発電機の備蓄により、電力確保に努めています。 等)

施策の推進 に向けた 今後の方針 災害発生時、発生後の対応について、「自助」、「共助」、「公助」の意識醸成を図るとともに、家庭に おいて「自助」である備蓄や家具の固定等の減災対策を進めることで、防災力の向上に努めます。

評価結果の公表 施策名 地域ぐるみの防犯対策の推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

. 71 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
健康領域	まちの健康
政策	安心安全に暮らせるまち
施策	地域ぐるみの防犯対策の推進
主管部局	市民協働部
主管課	危機管理課
関係課	危機管理課

2 施策が目指す大府市の姿

内容

市民自らの防犯意識を持った行動と、地域での防犯活動により、「犯罪に遭わない」「犯罪を起こさせない」まちになっています。

3 令和 6年度 施策フルコスト (単位:千円)

歳出(使ったお金)	R 6決算	R 7予算	
(1) 人件費	59, 685	0	
(2)事業費	107, 283	90, 170	
フルコスト(歳出合計)	166, 968	90, 170	
歳入(お金の出所)	R 6決算	R 7予算	
(1)国庫支出金(国から出たお金)	0	0	
(2)県支出金 (愛知県から出たお金)	1,822	0	
(3)市債(市の借金)	0	0	
(4)その他特定財源 (使い途が決まっているお金)	550	0	
(5)一般財源(市税収入など)	104, 911	90, 170	
歳入合計	107, 283	90, 170	

4 「まちの健康」指標(施策評価指標)

有効性指標 1

指標名	刑法犯認知	知件数								単位	件
וי יינונונ										現状値	568.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	557. 0	546.0	535. 0	524. 0	513. 0	502.0	491.0	480.0	470.0	460.0	450.0
実績値	361.0	293. 0	360.0	433.0	411.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、 データの 出所等	東海警察	[海警察署などが発行する「地域安全情報」における市内刑法犯認知件数									
計画値、 実績値の 推移に関する 分析と評価	東海警察計画目標的			件数は対	前年比で均	増加しまし	たが、大	府市内の同	司数は対前	7年比でも	減少し、

指標名	「防犯灯	整備などり	が犯対策に	満足して	いる」市員	民の割合				単位	%
10.194.10										現状値	36. 6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	39. 0	39.0	42.0	42.0	44.0	44.0	46.0	46.0	48.0	48.0	50.0
実績値	42. 6	42.6	43. 5	43.5	40.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
安山 十	市民意識	調査の「阝	5犯対策 (防犯灯の	設置など)	」に対す	-る満足度	で「満足」	又は「お	おむね満	足」と答
算定式、	えた市民の	の割合									
データの											
出所等											
	計画目標	値は未達症		防犯灯や	防犯カメラ	ラ等の施設	歯を含め	、防犯対策	衰施策を推	推進する必	要があり
計画値、	ます。							,	, ,	_ ,	
実績値の											
推移に関する											
分析と評価											
	I										

評価結果の公表 施策名 地域ぐるみの防犯対策の推進

有効性指標3

	<u> </u>										
指標名	「子ども	の見守りや	アパトロー	ルなどを	行っている	る」市民の	割合	·		単位	%
10 1/4 10										現状値	17.8
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	20.0	20.0	22.0	22.0	24.0	24. 0	26.0	26.0	28.0	28. 0	30.0
実績値	13. 4	13. 4	14. 7	14. 7	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	市民意識	調査で「ヨ	子どもの見	守りやパ	トロールな	などを行う	こと」に	「積極的に	こ」又は	「ある程度」	取り組
昇止丸、 データの	んでいる	と答えた市	可民の割合								
* * .											
出所等											
	子どもの	見守りやノ	ペトロール	などは、	自治区やⅠ	PΤA等の	団体が積	極的に実施	をしていま	(すが、計画	画目標値
計画値、	は未達成	でした。よ	い多くの	市民に自	主防犯団体	本等への参	加を促す	必要があり	ります。		
実績値の		ŭ							, ,		
推移に関する	5										
分析と評価											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
防犯啓発事業	危機管理課	57, 600 (57, 600)	指標名	防犯講話・研修会回数	妥当性	А		
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	41. 0 30. 0	有効性	В		
	車致車業の		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	73. 2% 66. 7%	効率性	А		

事務事業の方向性 B:現状のまま継続 東海警察署管内の刑法犯認知件数は、前年と比較すると増加しています(R5:919件、R6:1,075件)。 令和6年中の特殊詐欺被害金額は県下でワースト1位となり、被害防止の強化が急務であるため、より積極的に対策を推進します。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標					
防犯施設事業	道路整備課	37, 203 (37, 203)	指標名	防犯灯基数	妥当性	А			
			単年度計画値 単年度実績値	7, 000. 0 6, 959. 0	有効性	А			
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	99. 4% 95. 3%	効率性	А			

事務事業の方向性

B:現状のまま継続

犯罪捜査のための防犯カメラの映像データ提供を、より迅速に対応できる体制づくりが必要である。

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
消費者行政事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	4, 668 (4, 668)	指標名	消費者トラブル対策講座受講者延べ人数	妥当性	А		
			単年度計画値 単年度実績値	70. 0 115. 0	 有効性	A		
	+ 7b + 4lk		単年度達成率 最終目標に 対する達成率	164. 3% 164. 3%	効率性	А		

<u>事務事業の方向性</u>

評価結果の公表 施策名 地域ぐるみの防犯対策の推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標 評価点				
警察署誘致事業	危機管理課	4, 601 (4, 601)	指標名	陳情及び要望活動	妥当性	А	
			単年度計画値 単年度実績値	3.0	有効性	А	
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100.0%	効率性	А	
	事務事業の B:現状のま 愛知県事業と います。大府	ま継続 して、令和7年	・度に庁舎設計業務	1 が完了し、令和8年度移行には庁舎建設工 、様々な課題に対応し、愛知県に全面的に†	事が予定され 協力します。	hて	

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)

県内及び東海警察署管内の刑法犯認知件数は増加している中、市内の同件数は減少しました。しかし、東海警察署管内の特殊詐欺被害金額は県内ワーストを記録しており、被害防止啓発をより積極的に推進する必要があります。

施策の推進 に向けた 今後の方針 関係機関等と連携し、防犯意識の醸成と地域防犯力の向上を目的とした啓発活動を推進します。 市民の防犯対策を推進するため、自主防犯活動促進事業費補助金制度の利用を促進します。 本市の防犯力を更に強化するため、大府警察署(仮称)の早期建設に向け、愛知県警察本部に全面的に協力します。

評価結果の公表 施策名 地域ぐるみの交通安全対策の推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

· 32 - 242 4713 - 12-442 FI II	
健康領域	まちの健康
政策	安心安全に暮らせるまち
施策	地域ぐるみの交通安全対策の推進
主管部局	市民協働部
主管課	危機管理課
関係課	危機管理課

2 施策が目指す大府市の姿

内容

市民一人ひとりがお互いに思いやる気持ちを持ちながら、交通安全のルールを守り、事故が起こらないまちになっています。

3 令和6年度 施策フルコスト(単位:千円)

	D 011	
歳出(使ったお金)	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	37, 764	0
(2)事業費	124, 531	64, 476
フルコスト(歳出合計)	162, 295	64, 476
歳入(お金の出所)	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金(国から出たお金)	0	0
(2)県支出金(愛知県から出たお金)	622	2, 300
(3)市債(市の借金)	0	0
(4) その他特定財源(使い途が決まっているお金)	1, 380	0
(5)一般財源(市税収入など)	122, 529	62, 176
歳入合計	124, 531	64, 476

4 「まちの健康」指標(施策評価指標)

有効性指標 1

 	指標名 交通死亡事故人数									単位	人
1日1示1口											
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、	交通事故網	統計におり	ける市内交	通死亡事							
データの											
出所等											
шлт											
	令和6年										
計画値、	交通死亡	交通死亡事故発生を受けて、緊急の啓発及び立哨を実施し、交通安全意識の醸成を図りました。									
実績値の											
推移に関する											
分析と評価											

117971710177												
指標名	交通事故	発生件数	(人身事故	:)						単位	件	
										現状値	395. 0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	
計画値	386.0	377.0	368.0	359.0	350.0	341.0	332.0	324.0	316.0	308.0	300.0	
実績値	281.0	221.0	198.0	244.0	234. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、 データの 出所等	交通事故	交通事故統計における市内交通事故発生件数(人身事故)										
計画値、 実績値の 推移に関する 分析と評価	「大府市」 交通安全加	yuriCargo	プロジェ	クト」等に	、計画目材 こおけるデ 抑制に繋え	ータ分析	等により拒	出した危	険箇所及で	び各種要望	箇所の	

評価結果の公表 施策名 地域ぐるみの交通安全対策の推進

有効性指標3

	指標名	「交通安全対策に満足している」市民の割合									単位	%
	7.1.17										現状値	34. 0
	年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
	計画値	35. 0	35. 0	36. 0	36. 0	37.0	37.0	38.0	38.0	39.0	39.0	40.0
	実績値	40.4	40.4	39. 6	39. 6	38. 5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	算定式、	市民意識	調査の「ダ	E 通安全対	策」に対	する満足月	隻で「満足	.」又は「	おおむね流	勘足」 と答	えた市民	の割合
	データの											
	出所等											
		各種要望	こ応えるる	で通安全施	設整備等	により計画	町目標値を	達成しま	した。			
	計画値、		,	,					0			
	実績値の											
1	推移に関する											
13												
	分析と評価											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		最重要指標				
交通安全啓発 事業	危機管理課	38, 135 (38, 135)	指標名	交通安全教室回数	妥当性	А		
			<u>単年度計画値</u> 単年度実績値	66. 0 50. 0	有効性	В		
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	75. 8% 71. 4%	効率性	А		
	車 扱車 業の	 	対する達成率	11.4%		_		

■務事業の方向性 B:現状のまま継続 高齢化社会の進展に伴う運転手の高齢化、運転手の規範意識低下、自転車利用者の交通法規違反が課題となっています。事故件数のさらなる減少・根絶を目指し、関係機関・団体と連携した啓発活動を実施しま

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)		評価点	į	
交通安全施設 事業	道路整備課	127, 634 (127, 634)	指標名	交通安全施設整備工事	妥当性	Α
			単年度計画値 単年度実績値	4.0	有効性	А
			単年度達成率 最終目標に 対する達成率	100. 0% 100. 0%	効率性	В

<u>事務事業の方向性</u>

B:現状のまま継続

コスト増大への対応や、通学路に関する取り組みを強化する必要がある。

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況 の変化や課題 等)

高齢化社会の進展に伴う運転手の高齢化、運転手の規範意識低下、自転車利用者の交通法規違反が課題と なっています。これらの課題を解決するため、関係機関と連携を図りながら、各種啓発活動及び環境整備 を推進する必要があります。

施策の推進 に向けた 今後の方針

関係機関と連携し、交通安全思想の普及を目的とした啓発活動を推進します。 児童・生徒の交通事故を防ぐため、地域と連携した立哨・見守り活動を実施します。 よりよい交通安全環境を整備するため、交通安全施設の設置及び維持管理を実施します。